※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「現代の国語」（筑摩書房）						
副教材等	「新訂版　最新国語便覧」（浜島書店） 「現代文グレートラーニング 40 レベル 1」（尚文出版） 「入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500 三訂版」（いいずな書店） 「ウォーミングアップ高校国語　国語小町　標準編」（啓隆社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・難しい言葉や表現と出会うことも多いですが、積極的かつ自主的に辞書などを活用し、それらを新たな自分の財産として積み重ねていってください。
・様々な文章を読みながら、物事を多角的に捉え、感じたことや考えたことをより深く表現することができるように一緒に学びを深めていきましょう。
・課題を通した家庭学習にもしっかり取り組みましょう。作業としてこなすのではなく、自分なりに考えながら進めることで、学校や家庭の貴重な時間をより厚みのあるものにしましょう。
・積極的に読書をして、言葉の力や価値について学びましょう。

２　学習の到達目標

・語彙や表現方法などの国語の知識や技能を身に付ける。
・他者との関わりの中で目的や場に応じた伝え方を学び、思考力、判断力、表現力を高める。
・読書を通して言葉の価値への認識を深め、国語を尊重し、人生を豊かにしようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	言葉の特徴や役割、漢字の読み書きや言葉遣いなど、実社会に必要な国語の基本的な知識を身に付け、目的に応じて適切に使っている。	「話すこと」「聞くこと」の各領域において、目的や場に応じた伝え方を学び、話の構成や展開を工夫している。また、展開を予想しながら聞き、情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 「書くこと」の領域において、目的に応じて情報を吟味したうえで、自分の考えが的確に伝わるような表現を使っている。 「読むこと」の領域において、内容や構成を捉え、要点を把握している。	言葉を通じて積極的に他者と関わり、自分の考えを深めることで、言葉の価値への認識を深めようとしている。また、目的や場に応じた効果的な言葉を使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	問う力を身につける ［教材］ 「質問する力」を育てよう	a：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができている。 b［話／聞］：目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 c：積極的に発表し、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	ワークシート	ワークシート 発表	振り返りシート
	いろいろな出来事をひとつのことばで表現する ［教材］ 境目	a：「境目」という言葉と通して、言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解し、自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係を理解できている。 b［書］：自分の考えが的確に伝わるように、表現の仕方を工夫している。 c：教材の内容、他者との関係、自分の「境目」に関心を持ち、積極的にものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	振り返りシート
	具体例や比喩から抽象的な考えを読み取る ［教材］ ことばとは何か	a：主張と論拠など情報と情報の関係について理解し、学習活動の中で推論の仕方を理解して使っている。 b［読］：内容や構成、論理の展開などについて本文の叙述から的確に捉え、要旨や要点を把握できている。 c：具体と抽象の関係を理解し、文章の要点を意欲的にとらえようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 ノート	振り返りシート
	筆者のキーワードに着目する ［教材］ システムと変異	a：キーワードやキーセンテンスを読み取り、主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。 b［読］：評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。 c：論旨に結びつくキーワードを理解し、文章の要点を意欲的にとらえようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 ノート	振り返りシート
	意見を示す ［教材］ 評論分の一節を引用し、自分の意見を述べよう	a：引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深めている。 b［書］：引用した文章が主張の論拠となるよう、効果的に活用することができている。 c：論理の展開を意識し、根拠を明確にして意見を書こうとしている。	ワークシート	ワークシート ノート	振り返りシート
二学期	グラフの使い方、読み取り方を学ぶ ［教材］ わかっていることいないこと	a：グラフを調べ、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めている。 b［読］：目的に応じて、文章や図表などの含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて、評価したりすることで、自分の考えを深めている。 c：論理的文章に興味を持ち、グラフと主張の論理関係を意識して読もうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 ワークシート	振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	資料を駆使する ［教材］ 社会をつくることば――情報の整理と活用	a：資料から読み取った情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めている。 b[書]：目的や意図に応じて適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 c：統計資料を正確に読み取ることに意欲的に取り組み、読み取った情報を活用して自分の主張を書こうとしている。	ワークシート	ワークシート ノート	振り返りシート
	体験を魅力的に伝える ［教材］ 誰かの靴を履いてみること	a：文章の効果的な組み立て方や接続の仕方、表現の効果について理解している。 b[話／聞]：自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にし、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。 c：聞き手を意識し、構成や展開、表現の仕方を工夫して話そうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 ワークシート	振り返りシート
	エピソードを効果的に使う ［教材］ マルジャーナの知恵	a：文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、題材に合った情報を集めている。 b[書]：自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができている。 c：自分の考えを的確に他者に伝えるための効果的な表現や具体例の提示の仕方を工夫しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 ワークシート	振り返りシート
	建設的な議論をする ［教材］ 議論する力を育てよう／議論の前提を明確化しよう	a：議論の流れや役割について理解し、その場に応じた言葉遣いや論理の展開についての学びを深めている。 b[話／聞]：論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、状況に応じて進行の仕方や結論の出し方を工夫している。 c：議論に意欲的に参加し、自分の役割や論理の流れを意識しながら発言し、相手の意見を聞こうとしている。	ワークシート	ワークシート 発表	振り返りシート
三学期	筋道を立てて論述する ［教材］ 主体という物語	a：仮説の立て方と検証の流れについて理解し、情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。 b[読]：内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、仮説と根拠の関係を把握することができる。 c：情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 ワークシート	振り返りシート
	考えを発信する ［教材］ 意見を文章にまとめてみよう	a：文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、題材に合った情報を集めている。 b[書]：目的や意図に応じて題材を決め、適切な情報を集め、吟味し、伝えたいことを明確にしている。 c：積極的に情報を集め、レポートを書く活動に意欲的に取り組んでいる。	ワークシート	ワークシート レポート	振り返りシート
	考えを発信する ［教材］ ビブリオバトルに挑戦しよう	a：発表の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を工夫し、適切な言葉遣いで話すことができている。 b[話／聞]：聞き手の興味を引くために必要な情報を吟味し、伝えたいことを明確にしている。 c：積極的に発表し、ほかの人の発表も注意深く聞き、適切に評価しようとしている。	ワークシート	ワークシート 発表	振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　25　）時間

・書くこと　…　（　35　）時間

・読むこと　…　（　20　）時間